

株式会社ジェイコム東京 調布局・世田谷局
令和5年度（2023年度）放送番組審議会 議事録

1. 開催日時

2024年3月7日(木) 11時より

2. 開催場所

東京都調布市小島町1丁目38-1 調布 PARCO 8F
調布クレストンホテル

3. 出席者

委員長 : 齊藤 亀三 様

委員 : (ご出席) 吉良 雅彦様、谷崎 智仁様、菊野 長正様、渡辺 弘樹様、秋元 慈一様
(ご欠席) 中西 明子様

事業者側 : 調布局 局長 森 竜介、世田谷局 局長 西生 篤

調布局地域プロデューサー 伊藤 祥子、世田谷局地域プロデューサー 桑畑 富哉

映像制作第一部 関原真人、中野事務所 拠点長 東照審

4. 委員ご紹介

事業者側より、出席した委員全員の紹介があった

5. 委員長選出

齊藤 亀三委員長が全委員の賛同をもって選出された

6. 報告事項

事業者側から事業報告及び J:COM チャンネル(11ch)と J:COM テレビ(10ch)について報告

7. 議題（審議番組：『ジモトトピックス』）

各委員からは、審議番組に関して以下のような意見が出された

- ナレーションなど興味を持たせるような取り組み・工夫をされたのだろうと感じた。
一方でチャリティーイベントの内容で、何故コンサートにここまで入りこむのか疑問に感じた。
- ジモトトピックスとジモトトピックスプラスが分かれている理由は何か。どういった切り分けか。
- 日々の細かい情報発信が無くなってしまったのではないかと感じた。ケーブルテレビは地域のニッチなニュースを取り上げて欲しい。

事業者側からは以下の発言があった

- 世田谷区が33%まで緑化していきたいという試みの内容だった。確かに緑化をメインテーマとしているのにその他のイベントを多く取り上げたことは解りづらかったかもしれない。今後改善していきたい。
- ジモトピックスプラスは、東京全域に放送する内容。ジモトピックスはあくまでも地域の情報を放送している。情報によってはジモトピックスの話題をプラスで放送することもある。

8. 議題（審議番組：『こちら J:COM 安心安全課』）

各委員からは、審議番組に関して以下のような意見が出された

- 井戸水を取り上げていたが、調布は井戸水が飲めない場合が多い。濾過する装置なども一緒に紹介したらどうか。震災の際、一番困るのは食料と水。カップラーメンを水でも作れるなど備蓄している食料をどのように食べるかという部分を紹介してはどうか。
- 「共助」を中心に身近に出来る取り組みから、地域の方が街の安心安全のために活動している様子を伝えているところがいい。
- 地域の方に視聴していただかなくては意味がない。市としてもPRをしていきたい。
- 初期消火はとても大切。火災発生初期段階に消火器で近所の方同士消化が出来れば建物が倒壊しても救助に入れている。火災を拡大させないことも大切。
- 震災の規模によっては井戸水も出なくなってしまう場合がある。給水ステーションがあることがあまり知られていない。そういったことも伝えてもらいたい。

事業者側からは以下の発言があった

- 尺が短いのでテーマを一つに絞っている。また他の地域でも取り組めることをテーマにしている。地域ごとの状況まで入れられるように番組作りをしていきたい。
- 「共助」や「近助」など地域住民同士の繋がりが大切だと感じる。災害が起こった際近くの人同士で助け合うというところを伝えていきたい。

9. 議題（審議番組：『長々と散歩』）

各委員からは、審議番組に関して以下のような意見が出された

- 放送エリアと市区町村は内容が違うのか。
- 各地域区長の顔を知っていることは地域住民からしたら大事な事なので良い番組だと思う。区長は他の地域の街を紹介するのか。
- 時期の選定が難しく、題材も頭を悩ませる場合がある。ただ、市長が行くと自分たちが取材に行くのとはまた別の視点で答えていただけたらいい。7市でまわっていると議会のタイミングが同じこともあるので年間スケジュールが事前にわかればいい。

事業者側からは以下の発言があった

- 「長つと散歩」は正確に言うと「長つと散歩 杉並・中野・世田谷・太田」という番組名なのでこの4つの区長が出演される番組を4つのエリアで放送している。
同じく「長つと散歩 府中・国分寺・小金井・武蔵野・三鷹・調布・狛江」が放送されている。
- 区長がお供を連れて、自身の地域を紹介するのが基本コンセプト。

10. 議題（審議番組：『地域の特別番組』）

各委員からは、審議番組に関して以下のような意見が出された

- 多摩川いかにレースは、カメラ位置を工夫した方が臨場感も出て良いのではないかと。
調布花火は、ドローンを飛ばしてはどうか。正面とドローン映像があると現場に行けない方も違う目線で見られるのではないかと。
- 今回調布花火は、ドローンで撮影する団体が撮影した。ドローンで撮影するには技術や機材など必要になると思うがジェイコムと一緒に出来れば良いと思っているので今年検討いただきたい。
- 多摩川いかにレースは見ていてとても楽しかった。市民の方々が時間をかけて準備しているので、今後運営スタッフも取り上げていただければ有難い。
- 昨年はあまり雑踏になるような状況をつくらぬよう警察から注意があり、花火を自宅で見るよう誘導する流れがあるのではないかと。生中継だけでなく、後日流すことも考えドローンを活かしていく方法もあるのではないかと感じる。
- コロナ禍の雑踏問題ではなく、警察では人込みをつくりたくないということを強く言われた。
今後のことを考えても、雑踏をつくらぬための映像の使い方という視点で取り組んでいただければ。
- 世田谷でもいかに下り大会があるので、そちらも取り上げて欲しい。少年野球は、子供たちを取り上げてもらえるのは嬉しい。その他のスポーツも J:COM CUP でやってもらえないか。

事業者側からは以下の発言があった

- 多摩川いかにレースのカメラ位置に関しては仰る通り。制作側に伝える。
調布花火については、以前ドローンに挑戦したが風に煽られ制限エリア内での撮影が難しかった。また当時は映像が悪く見るに堪えない映像となったが、今は技術も進化していると思うので再検討したい。
- 花火大会生中継は、現地に行けない方が多数いるので自宅でも楽しんでもらうことを意識した番組作りを心掛けている。視聴者の方から感謝の言葉をもらうことも多い。
- 昨年までは、感染症のこともあり会場に呼び込みたくないという意味でテレビでの視聴を促していたが、基本的なスタンスとしては、今やっているもの（花火）を、同時に行けない人のために放送するというスタンスを崩さずやっていきたい。
- 制作費など諸々兼ね合いがあるが、他のスポーツも取り上げていきたい気持ちはある。
どのように特別番組として実現させるかは考えていきたい。

11. その他要望、ご意見

委員から以下の意見があった

- テレビ広報ちょうふの世田谷版（世田谷区の広報番組）を是非作ってほしい。
テレビ広報ちょうふは細かい部分に取り上げられていてとても良い。
- コロナ禍が落ち着き色々なイベントが復活してきている。取材はどのように選別しているのか。
- ケーブルテレビの最大の特徴は、ローカルな情報を発信するという事だと思う。

事業者側からは以下の発言があった

- 世田谷区の広報番組をつくるべく動いているがなかなか難しい部分がある。
広報番組のメリットを感じてもらえるよう働きかけていきたい。
- 取材の要望が多い。集まったご要望に関して、重ならない場合は極力全て行くというスタンスでやっている。
行事が同時期に多数重なる場合も多々あり、そこはお断りする場合もあるが、少しでも取り上げていく工夫をしている。
- 委員のご意見のとおりだと思う。今後も地域のきめ細かい情報を発信することに力を注いでいきたい。

以上